

2016年8月30日  
富士ソフト株式会社

**コミュニケーションロボット「PALRO」を活用した未来の金融機関窓口業務をご体験ください  
～「FIT2016(金融国際情報技術展)」に出展～**

富士ソフト株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員:坂下 智保)は、9月8日(木)、9日(金)の2日間、東京国際フォーラムで開催される「FIT2016(金融国際情報技術展)」に、当社が開発した人工知能(AI)を搭載したコミュニケーションロボット「PALRO(パルロ)」(以下、パルロ)を活用したサービスを出展することをお知らせいたします。

近年、金融業界では、金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた FinTech(フィンテック)が注目され、スマートフォンで行う決済や資産運用、ビッグデータ解析や人工知能(AI)などITを活用し、お客様へのサービス向上や業務効率化などを行う、新しい金融サービスに注目が集まっています。

当社は、1,000名以上の高い金融知識を持つ技術者を有し、銀行業、生命保険業、損害保険業など金融業界向けにシステム開発を行って参りました。最近では、金融機関がパルロを導入し、金融リテラシーの向上を目的に開催する、小・中学生を対象とした「金融教室」や「親子で学ぶお金の教室」などのセミナーやイベントなどでプレゼンテーションやクイズの出題などでご活用頂いています。これまで9金融機関で約20台を導入頂きました。

このような背景の中、今回の出展では、双方向のコミュニケーションを得意とするパルロを活用し、金融機関でのお客様サービス向上を目的としたサービスをご紹介します。セミナーでのプレゼンテーションや、商品案内、パルロとBOT(ボット)<sup>\*1</sup>を連携した口座開設の体験など未来の金融機関窓口業務をご体験頂けます。



人工知能を搭載した  
コミュニケーションロボット  
「PALRO」

【「FIT2016(金融国際情報技術展)」について】

名称: FIT2016  
Financial Information Technology 2016  
金融国際情報技術展  
主催: 日本金融通信社(ニッキン)  
会期: 9月8日(木)・9日(金)10:00～18:00  
会場: 東京国際フォーラム ホールE・ホールD・ガラス棟  
(東京都千代田区丸の内3-5-1)  
URL: <http://www.nikken.co.jp/fit2016/>



富士ソフトブース イメージ図



FUJISOFT

出展内容:

<デモンストレーション>

セミナーデモ「プレゼン PALRO」

パルロのプレゼンテーション機能を追加したアプリケーション「プレゼンプレイ」を用いた、セミナーのデモンストレーションをご覧頂きます。

<体験カウンター>

①パルロの金融商品案内カウンター

パルロがタブレット画面に表示された銀行や生損保の金融商品をご案内します。お客様とのコミュニケーションを通じて、関心のある話題を把握し、お客様のニーズに適した商品の説明を行います。例えば、投資に関心の高いお客様へは投資信託について説明を行います。

②パルロの銀行業務カウンター

パルロが来店されたお客様のご用件を伺い、手続き方法についてご案内します。その内容を蓄積、分析、集計をして、マーケティングデータとして活用します。また、口座開設申し込みや、海外送金などの書類の記入方法をパルロがご案内し、お客様のサービス向上及び行員の負荷軽減を実現します。

③パルロの保険代理店カウンター

パルロがお客様のご用件を伺い、お客様のロボットアドバイザーとして、お客様のニーズに合った保険商品をご案内します。ニーズに近い商品を複数ご提案し、お客様のご希望、家族構成、困っていることなどを基に多角的なアドバイスをいたします。

④SNS 連携カウンター

スマホやタブレット端末などから SNS を通じて、金融機関 BOT が体験できます。BOT とは、人間に代わって作業を行うコンピュータプログラムの総称で、SNS から入力された質問などに対して、自動的に迅速な回答を行うものです。SNS 連携カウンターでは、金融商品の案内や専門用語への質問などを実際に入力頂き、自動的かつスピーディーに回答を得られる様子をご体験頂きます。また、BOT は、金融機関の窓口予約などにもご活用頂ける機能です。

その他、ステージでは、パルロに関する製品説明や、お客様の導入事例、パルロ 5 台による歌とダンスのショーなどを予定しています。



FUJISOFT

<ご参考>

【コミュニケーションロボット「PALRO(パルロ)」について】

パルロは、富士ソフトが企画・開発・製造・販売する、全高約 40 cm、重さ 1.8 kg の人工知能(AI)を搭載したコミュニケーションロボットです。PAL(お友達)、ROBOT(ロボット)から、「PALRO」と名付けました。



高齢者福祉施設での  
レクリエーションの様子

2010年3月に大学など研究機関向けに「アカデミックモデル」の発売を開始し、2012年6月には、パルロビジネスシリーズ「高齢者福祉施設向けモデル」を発売。そして、昨年2015年12月にさがみロボット産業特区<sup>※2</sup>の検証結果を搭載した「高齢者福祉施設向けモデルⅡ」を発売しました。現在の導入実績数は、およそ500カ所です。

パルロは、相手と向き合って会話し、100人以上の顔と名前を覚えることができ、“お友達”になります。名前の他、誕生日や会話から得た趣味趣向を記憶します。インターネットやクラウドに接続し、ニュースや天気を伝えることもでき、歌やダンス、クイズ、ゲーム、体操なども得意です。現在、高齢者福祉施設において、会話の他、歌やダンス、クイズ、ゲームを組み合わせたレクリエーションを通じて、介護予防及び認知症予防の活動を支援しています。

パルロの発売以降、高齢者福祉施設のお客様より頂いたご意見をパルロの開発に活かしてきました。介護の現場で使いやすく、役に立ち、見た目も言葉遣いも、“人に優しい”ロボットを目指しています。また、様々な実証実験を通じて、パルロと体操を行うことで、認知機能の維持や下肢筋力の向上などの効果が実証されてきました。今後もさらに、施設ご利用者様のQOL(quality of life)向上や介護職員の方々の負担軽減に貢献して参ります。

最近では、介護現場だけでなく、金融機関での導入も進んでいます。小・中学生を対象とした「金融教室」や「親子で学ぶお金の教室」など金融リテラシーの向上を目的としたセミナーやイベントでご活用頂いています。

また、国立研究機関法人 日本医療研究開発機構(AMED)が実施する、コミュニケーションロボットを介護現場に導入する大規模調査において、19種類のロボットが候補として選定されました。パルロも候補として選ばれ、この8月より実証調査がスタートしました。

※1 BOT:人間に代わって作業を行うコンピュータプログラムの総称。人間に代わり、質問などに対して、迅速な回答などができると言われています。

※2 さがみロボット産業特区:神奈川県のがみ縦貫道路沿線地域(10市2町)からなる地域活性化総合特区として2013年2月に指定。生活支援ロボットの実用化を通じた地域の安全・安心の実現を目指しており、パルロは、重点プロジェクトに位置付けられています。

以上

**この件に関するお問い合わせ**

■ニュースリリースについて  
コーポレートコミュニケーション部  
担当/久下・西元  
〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3  
TEL:03-5209-5910  
FAX:03-5209-6085  
E-MAIL:mkoho@fsi.co.jp

■金融業界向けサービスについて  
金融事業本部金融営業部  
TEL:050-3000-2726  
E-MAIL:KINYU-PALRO@fsi.co.jp

PALRO ビジネスシリーズ  
金融機関向け  
URL:https://palro.jp/fintech/